

めだかの学校だよ

平成 25 年 8 月 1 日
第 81 号
学舎：周智郡森町一宮
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第八十一回 校長 木村 智子

「面白そう」とめだかの学校に初登校した時、一人娘はまだ私から離れられず、両親が娘の面倒を見るためについてきてくれました。その娘も成人。早い！当時も住所は所沢。3か月に1度の浜松通いは娘の小学校入学と共に無くなりましたが、「おもしろ人立」の建学精神が好きで、ずっと生徒を続けてきました。

娘が小学4年と中2の時に、シンガポールに住みました。造園が専門でしたが、夫の仕事で行ったので、なにもかもゼロの状態です。よく知らない赤道直下の国に。日本のまちの木は大体わかったのに、赤道直下では1つの樹木にも見覚えがありません。幸い日本人の自然散策グループを見つけて仲間に

してもらい、1つ1つ木の名前を憶えていきました。

日本では観葉植物として部屋の中にあるベンジャミンは、本当は楠の木などメジヤ無い(?)。巨大な木になります。私が日本で持っていた植物についての常識は、散歩のたびにぶち壊され、植物そのものの「けったいさ」から、不思議な生き物どうしの相互関係まで、面白いことづくしの熱帯の森や自然に、私はどどんはまっています。

そこで理解したのが「生物多様性」。日本に比べ、熱帯での多様性はすさまじいです。中には1億年続いている森すらあり、1億年かけて命たちが創り出した生物ネットワークがあるのです。それらが複雑に絡み合いながら全体としてある程度の安定を保っている。無駄なものはない。どの植物も生きものも相互の関係の中で生きてい

る。日本の社会はどちらかと言うと「違う」ことを許しません。けれど違うものがいっぱいあって関係を保つことで命は38億年続いてきたのです。

今私は公園などで、生物多様性を取り入れた庭づくりを、地域の方達としています。

美しい庭作りのためには多様性が大切ということ伝えていくことで違うことを許す社会に近づくといいなあと思つてやっています。みんなが違いを楽しめれば、いじめも自殺も減るかな?じつはそんなことも思いますが、「おもしろ人立」にも通じますね!



めだか学校20周年開校80回記念
全国まちづくり交流会in遠州森町
別刷り4頁特集号発行

めだかの学校伝言板

——第81回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長/木村智子

教頭/伊藤英雄

用務員/富田久美子

給食係/野嶋一男・鈴木祐之・大谷香代子・加藤ひとみ

大久保陽・服部守孝・伊藤英雄・山中幸子

今村純子・渡辺三ツ子(チーフ)

※今回は独断と偏見で決めました。

お手伝いできる人はぜひ4時ごろまでに!

<学舎>静岡県周智郡森町一宮「一宮総合センター」

TEL: 0538-89-7730(開校日のみ)

開校日/平成25年9月6日(金)6:20PMより

受付/田村進治・大島たまよ・大場敬子

齊藤昭(後見人)

21期通年テーマ:『界を超えて、ふるさとに学ぶ』

今回のテーマ: <先ず学舎のある森町から>

<時間割>

—期初特別授業—

●1時限1時間

社会科「中東遠の歴史的価値について」(仮称)

北島恵介先生(森町教育委員会文化財課係長)

●給食の時間~旬の味覚まつたけご飯~

10:15開校

めだかたち

■第11回全国まちづくり交流会 in 遠州森町 開催

平成25年6月7日から9日の3日間「第11回全国まちづくり交流会」が森町で開催されました。北は北海道、南は鹿児島県と与論島まで全国から145名の参加を頂き無事終了することができました。なかでも、大雨の中で行われたアクティビティでの前夜祭のバーベキュー大会、一端は雨で中止が決まった「森ほたる」、雨が止み城下地域の皆さんによる歓迎の感動ナイトウオーケ。2日目は2コースに分かれての森町内散策と特産品のトウモロコシ甘々娘と究極のコシヒカリのおにぎりトントンの昼食会。

午後の開会式前には全員で小國神社に正式参拝、続いて行われた本番のまちづくり交流会では参加団体の活動報告に改めて感動しました。休憩では国指定の小國神社古式舞楽の特別演舞を見学させていただきました。悠久の時を感じてもらいました。そして夜は大宝殿で大いに盛り上がった大交流会と雑魚寝の中での延々と続いた夜なべトーク、中学校の修学旅行を思い出しました。最終日はめだか生徒による、超スペシャルな周辺市町の施設案内と名所紹介などなど、参加者には3日間にわたり静岡県と森町を大いに堪能していただき、交流や親睦を深めていただくことができました。次回第12回は来年の6月に与論島で開催することで承認いただき再会を約束いたしました。

こんな凄い全国規模の大会を森町で開催出来得ましたことは、ひとえにめだか生徒の皆様と地元の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。特に事務局

局を担当して頂いた村松達雄・松本芳廣めだかの奮闘には重ねて御礼申し上げます。「袖すれ合うも人の縁」とよく言われますが、今回の交流会を通してたくさんの方との出会いを頂きました。この縁は自分の一生の宝だと感謝し、大切に深めてまいりたいと思います。感謝
実行委員長 榎原よしとも

■「かがり火支局長会議」と「地域フォーラムinあきた」に参加して

「かがり火の支局長会議」と「地域フォーラムinあきた」に「東京から私が送るのに参加しないか」と菅原敬一社長（合同会社）かがり火の社長で、メダカ生）誘いを受けたので、主人の了解を得て出席することに。7月25日坂部を出て、飯田から高速バスで新宿に。26日社長さんの車で12時に出発。菅原社長の実家に午後8時に着。27日午前中は菅原社長のお兄さんのご案内で市内見学。午後3時から「おふくろの生きているうちにやりたかった」と菅原社長の実家で、仏壇の前に4部屋通して全国から集まった40人の支局長で自己紹介を兼ねた熱い思いを語り合う。菅原さん「私も70歳、もう借金を残して私が倒れたら迷惑をかけるから止めるか誰かやってくれない」と。かがり火II菅原さんだから、同じようにできる人はいない。菅原さんの負担を軽くして続けよう、と。午後6時「こまち」ホテルに移動して交流会をする。

28日(日)午後1時から「地域力フォーラムinあきた」開催。菅原さんの同級生で秋田美男子の実行委員長の関さん「秋田でなんてやっちゃったっていくらも集まらねえ」と言われたが、200人ほどの人が集まった。ありがたい。「地域づくりは金がないからできないと言つものではないこと。地域に住んでいる人のやる気だ。アドバイザーやコーディネーターを頼んでやるこ

とも違う」と、70歳のおじいさんのほつりと云った言葉に「残さなければならぬ。調講演は馬路村の東谷望史さん「小さな村の大きな挑戦」。第2部は、「秋田の未来はこう切り開く」。8人の若者が意見を述べた。コーディネーターの秋田大の藤田先生「一人一人がつながってバラバラではダメ。つながっていきましょう」と。総括講演は、かがり火の編集長で哲学者の内山節さんが総括した。

■第31回地域づくり団体 全国研修交流会福井大会

第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会が、平成25年11月16日(土)、17日(日)の2日間、福井県あわら市のあわら温泉(前夜祭と全体会)で開催と、福井市、鯖江市、越前市、敦賀市、小浜市、坂井市、勝山市、大野市、永平寺町、南越前市、若狭町の分科会場で行われる。

日程11月15日(金) 18:00 前夜祭、あわら温泉、グランディア芳泉。11月16日(土) 8:30 受付、9:00 10:30 全体会、10:30 11:30 「ふくい味の祭典」会場移動、11:30 昼食「ふくい味の祭典」視察。13:00 分科会(1日目)、11月17日(日) 9:00 頃 分科会(2日目) 県内13会場。

第1分科会(福井市)「戦国ロマンの歴史がたまたま悠久の里」、第5分科会(小浜市・若狭町)「伝統的な町並みを活かしたまちづくり」、第8分科会(鯖江市)「地域発・古くて新しい食文化の発信」など。地域を盛り上げる分科会が用意されている。参加費(資料・昼食代など)7000円。宿泊・交流会などは各分科会の現地経費が

かかる。1万円〜1万3千円の間です。※申込み締切りは8月30日必着。メダカ生は静岡県の「しずおか未来づくりネットワーク」を通して申込みますので、めだかの事務局へ。詳しい問合せは、あわら市政課内「あわら市分科会実行委員会事務局」小嶋、江川さんへ。TEL:0776-73-8005へ。

■森町の「森ほたる」と文化講演会

昔なつかしいあんどんの光が街並みを彩る森町の夏の風物詩「森ほたる」が、8月1日〜15日まで、森町の商店街や裏通りで開催されている。竹ひこで編んだ籠に和紙で包んで思い思いに絵を書いて、夕涼みには最高。各街角ではギターの弾き語りなど、「見(ミ)イ(イ)イベント」も行われている。実行委員長は松下信義メダカ。文化講演会「森町が生んだ近代日本産業の先駆者「鈴木藤三郎」のタイトル」の基調講演とパネルディスカッション。日時8月18日(日)13:30 森町文化会館大ホール。今回の文化講演会は、「村松藤三郎」と言われるほどの村松達雄メダカの努力によるところが大きい。

■遠州大念仏「蟬しぐれの盆」

磐田市の北部、敷地地域では「美しい地域づくり」「やさしい地域づくり」「活力ある地域づくり」を目標に、地域住民が主体となってお盆に遠州地方に伝わる遠州大念仏をメインに「蟬しぐれの盆」を8月15日(木)午後4時から午後8時まで、磐田市敷地の永安寺で行う。16:00 開場、17:00 精霊送り(セレモニー)、17:00 上演開始。敷地子供念仏、遠州大念仏大平組、遠州大念仏上神増組、遠州大念仏新原下善組。鉦や笛、太鼓など古式豊かに行われる

念仏踊りしたいまつに映し出されて幽幻の世界を現出。協力金500円。鈴木正士メダカ、榊原幸雄メダカも関わっている。問い合わせは、豊岡東公民館：0539・62・6669へ。

■第10回浜名湖

フオークジャンボリー開催!

全国各地でも開催されるようになって、年々輪が大きく、広がってまいりました。集大成のイベント浜松より発信!第10回浜名湖フオークジャンボリーが、9月28・29日(土・日)2日間、浜名湖ガーデンパーク「野外ステージ」で、開催されます。今年も東北、関西方面県内外の約60バンドが、あの頃のフオークソングを歌いにやってきました。おじさん、おばさんも年々うまくなってきました。もちろん若者も参加しますよ。入場無料、JR舞阪より会場まで無料シャトルバスもあり。

中村明男メダカも実行スタッフとして大奮戦。お問い合わせは、中村めだか：090・5108・1310まで

■第15回遠州横須賀街道・ちっちゃな文化展、10月25、27日

今年で15回目となる「遠州横須賀街道・ちっちゃな文化展」町並みと美の晴れ舞台」は、10月25日(金)・27日(日)に開催されます。昔ながらの風情を残す横須賀の町並みを舞台に、商店をはじめ一般の住宅、空き地・空き家など約80ヶ所の会場に、100人を越える作家さんがエントリ、自らの作品で町並みとの共演「晴れ舞台」を演出します。参加する作家さんのなかには鈴木眞弓メダカ、耳塚信博メダカ、大橋町代メダカなど、メダカ生徒もエントリ、個性的な作品で文化展を盛り上げてくれます。さらに期間中は各所でワークショップやコンサートなども開催、多彩

なジャンルの芸術と作家さん、また思いがけない人にも出会う3日間です。25日(金)は午後1時から5時まで、26日(土)は午前9時から午後9時まで、幻想的な雰囲気を楽しめる夜間展示を行います。最終日は午前9時から午後5時まで。駐車場は町の西はずれ、「横須賀城跡・三の丸駐車場」が便利、土日はJR掛川駅南口からシャトルバスも運行していますのでご利用ください。鈴木武史メダカ生徒

「人・ひと・ヒト」だより

●飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。飯田市役所を定年後、南信濃のまちづくり委員会の会長をやっている。三遠南信濃の玄関口、遠山郷。様々な課題に取り組んでいる。と静岡県の水窪町とはすぐ隣り。毎年、南信濃と水窪町と陣取り合戦をやっています。

●浜松市浜北区の奥宮教生メダカ。10年偉大なり。20年畏るべし。30年歴史なる。30年を目指して! だって。奥宮メダカ65歳、私バラめだかは73歳。あと10年目指すと75歳と83歳。いやア、マイッタね。でもやってみる価値はあるかも。みなさん、頼みますね、とバラメダカ。

●磐田市の小野泰弘メダカ。(学舎が森町に移り。「森町の持っている良さ」と「めだかの学校の個性」がリンクした時、面白いことになりそうですね、だって。

●東京都の「かがり火」の菅原欽一メダカ。若いめだかの生徒をせひ増やして欲しい、だって。誰かが話している時は、私語厳禁というのには素晴らしいルールだと思えます、とも。(ルールにはなっていないけど、そんな校風は漂っていますけど、ハイ)

●浜松市天竜区春野町の尾上美智子メダカ。7月26日、28日まで開かれた第4回春野人めぐりに参加。春野町の24軒が自

宅やお店を開放し、春の遊び、川の遊び、里山でゆったり体験、春野人と出会うなど、出合いの場を楽しんだ。尾上メダカは、裏を流れる熊切川での川遊びとオーブンガーデン。メダカ生もお手伝いに。春野町も面白い人いっぱいいるね。

●浜松市北区三方町の第24回校長の久米かよ子元メダカ。浜松市のホテルコンコルド浜松の1Fロビーギャラリーで、8月11日、8月20日(日)まで「創作粘土作品展」を開く。20数年集大成の個展だとして。作家そっくりのいい顔の人形たちがいっぱい。ぜひ立ち寄りください。問い合わせは、ふれあい工房 久米かよ子：053・436・0335。

●磐田市の山下安範メダカ。第80回めだかの学校開校記念&第11回全国まちづくり交流会ではカメラマンとして奮闘。あのパワーはどこから来るのかと思っていたらテニス・水泳などスポーツは万能だとか家のことはほとんどやらないだって。私も又、同じ。困った男もだねえ。

●森町の田邊哲メダカも凄い。第11回全国まちづくり交流会では、あの貧乏神社社の衣装と迫力ある声で。2日目の「笑っちゃうコース」の出発前の講話で、笑わずは笑わずは、会場は笑いの渦に。バスの中でも推して知るべし。なんと仕上げは、大交流会の最後に「ト」南の国のハメハメハハメハメハ、会場を巻き込んでの歌と踊りの振り付けで大盛り上がり。おかげ様で、夜はグッスリ眠れたとか、ハイ。

来年の春には、飯田市の貧乏神社本社が閉社するので、三倉分社が本神社に昇格。名目ともに貧乏神社社主になる、とのこと。分社希望の方がいましたら相談のりま。電話：0538・86・0409へ。

●浜松市引佐町の石野省三メダカ。この暑いのに帯状疱疹でマイッタ、マイッタ、

だって。帯状疱疹って、疲れやストレスでなりやすいって聞くけど「エッ、あの石野さんが!」とみんなびっくり。お大事に。●静岡新聞朝刊の4コママンガを書いてある東京のかまちょらうメダカ。磐田市香貫地の豊岡総合センターで開催される豊岡夜まつりで、似顔絵道場を開く、だって。似顔絵を描いて欲しい人はお出かけを!。盆踊りや軽トラ50台も参加する。と。副実行委員長は田村進治メダカです。

【新入生紹介】●磐田市の草地博昭さん。磐田市の若者ネットワーキングの会長や磐田市体育協会の事務局長をやっていた。この4月の磐田市議選で立候補。2位を2000票離してトップ当選。選挙前だが「かがり火」の若者応援記事でも取り上げられている。菅原欽一メダカ、榊原幸雄メダカ推せん。

●磐田市の声川和美さん。磐田市福田の海岸でサーフィン大会を主催したり、海岸清掃などでも活躍している。草地さんと同じく、磐田市議選に立候補。当選。全国まちづくり交流会に参加。全国から来た皆さんをもてなすメダカ生の姿に感激、入校を決める。大島たまよメダカ、榊原幸雄メダカ推せん。

【訃報】●浜松市北区細江町の松田不秋メダカ。25年5月26日に死去、享年83歳。5月29日の葬儀には多くのメダカ生も参列し、弔辞は飯田市の副市長と関京子メダカが故人への思いを語られました。故松田不秋メダカは第5回めだかの学校の校長で、一時限古典で三遠南信の民族芸能など話されました。又、三遠南信地域の研究家で、その活動は広範囲に渡り多くの足跡を残されています。ご冥福をお祈りいたします。ありがとう!不秋メダカ。

*めだか春秋はお休みさせて頂きました。

トピックス

町おこしは面白い!? 『大泥棒で町おこし』

磐田市の小林佳弘メダカ。ふるさとウオッチングマガジン、静岡県中、西部地域の文化情報誌「ばんぶきん」を毎月発行している。そんな小林メダカから、『森町は森の石松で町おこし』、見付(磐田市)は大泥棒で町おこし!?』、そんな殺し文句に誘われて、5月25日磐田市見付の見性寺に出かけた。江戸中期の大泥棒、浜島庄兵衛の読経会だった。この大泥棒庄兵衛は歌舞伎「白浪五人男」の、日本左衛門のモデルとか。相当のイケメンだったよう。墓石はだいぶ削られて小さくなっている。地元郷土史家である小林佳弘メダカと見性寺の住職の松山正宗さん。観光の一助になればと説明板を設置。

松山住職「日本左衛門の墓石は賭け事に利益があるので、ばくちをする人が削って持っていくので小さくなった。『宝くじ』を買えば大当たり間違いない。墓石がなくなるほど大勢の人に来てもらいたい。『宝くじ』買う場合は連番で10枚以上買ってね」とは影の聲。

森の石松の墓石は、欠いて持っていく人が多いので、持って行かないよう囲ってあるが、「庄兵衛の墓石はほとんど持って行って!」とは松山住職は太っ腹ですね。小林佳弘メダカ、近日中に「姫街道」本坂道」今昔物語」を発売予定。

■事務局だより

暑い日がつづきます。7月25日ころから夏風邪のようなものをひいて、咳がちよく

ちよく出て、「人生前向き 前向き」などとうそぶきながらやっている。それにしても虫の数が減っているような気がしてならない。まさに地球温暖化のせい?。局地的な大雨も多いし。熱中症にも心して! みなさまも。

第80回めだかの学校は、開校20年、開校80回を記念して、第11回全国まちづくり交流会と合同で開催することになりました。会場は25年9月から学舎となる森町で。そのため実行委員長に榊原淑友メダカ、庶務・会計を担当する事務局長には村松達雄、副には松本芳廣、事務担当には石野省三、副は鈴木武史。その他溝口久、田村進治、村田徳治、山下安範、鈴木正士、榊原幸雄、水島加寿代、尾上美智子、大島たまよ、森町の田邊哲、亀澤進、太田康雄、服部守孝、増田多喜男、鈴木智加志現メダカ生や元メダカ生など中心になって進めた。日程は6月7日(金)前夜祭、6月9日(日)の3日間。実行委員会も10回以上を数える。事務局を担当してくれた森町役場の増田多喜男、村松達雄、松本芳廣メダカらの資料づくりから進め方に支えられるところ多し。会場となったアクティ森、小国神社などの交渉は、榊原淑友実行委員長のおかげ。なんと、淑友メダカは森町町議会の議長。さすがです。めだかの学校の榊原幸雄メダカは「榊原淑友の兄です」とうそぶいて「いやア、森町の人は人が好い、信じる人が多くて(笑)。本番の内容は、榊原淑友実行委員長の報告記事と、4頁特集号をご覧ください。それにしても北海道から与論島までの150人強の人が参加。めだかの学校生徒はおもてなし側に回ってはいいたが、40余人が参加。多くの参加者の方から今回の会を盛り上げ支えた「めだかの学校」に、お礼と感謝のお手紙や言葉を頂きました。チームワークの良

さ、うらやましがられました。また森町の住民のみなさんのご協力も色々なところ発揮してくださり、感謝感謝です。7月7日(日)、第11回全国まちづくり交流会の反省会を森町の中華料理店で開いて終わりました。

さて、第81回めだかの学校の職員会議を7月23日(火)、新学舎となる森町一宮の一宮総合センターで午後七時から視察も兼ねて行いました。会場も厨房も広く使い勝手がいいですね。授業は机と椅子を使ったものです。高齢者にはいいですね。ただ階段がありますので「注意を!」。校長先生の木村智子メダカは所沢市で遠いので、欠席。伊藤英雄メダカと用務員の富田久美子メダカほか18人が出席。第81回めだかの学校は9月6日(金)、校長木村智子、教頭伊藤英雄、用務員富田久美子。第81回めだかの学校は21期最初の学校のため、通年テーマと、授業について話し合う。行政枠など色々な枠を超えて「界を越えてふるさとに学ぶ」に。第81回の授業は森町で初めての授業であるので、今回のテーマは「先ず学舎のある森町から」。授業は期初特別授業一時間一時間、社会科「中東遠の歴史的価値について」(仮称)北島恵介先生(森町教育委員会文化財課)にお願いとすること。新しい学舎の周囲には民家があるので、駐車場や屋外での私語は特に注意を!。又、今回は地域の役員にも声掛けしようということになりました。

■常態の発行遅れお救しを!

暑い日つづき、熱中症気味の頭がずいど続いている。と書いたが、集中力や記憶力の衰退が「よし今回こそは!!」の意志を超越してまして、ハイ。原稿のお願いやら、生原稿のパソコン打ちなどお世話になっている伊藤英雄メダカ、鈴木武史メダカ、

関京子メダカ、村松達雄メダカ、榊原淑友メダカ、本島慎一郎メダカ、村田徳治メダカ、それらをまとめてくれる間瀬亮太メダカ、ありがとうございます!、発送などのお手伝いの榊原美さん 感謝。

■第21期の受け付けを始めています。

第21期は、25年9月1日から26年8月31日までです。継続希望者の生徒は8月31日までに手続きを済ませて下さい。8月5日現在21名の方が済ませています。随時申込みは受け付けていますが、手続きがない生徒は自動的に名簿からはずれ自主退学となります。入学希望の方がいましたら事務局までご連絡ください。資料と申込書を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を!

あなたの関わりのある団体の活動予定や、生徒自身の活動結果などでもいいのでご連絡ください。次回の発行は11月1日予定。締切りは10月20日です。郵便かFAXで。メールの方は、
《mabuchi-tr@vr.tnc.ne.jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「報を」)

■めだかの学校の事務局

T438・0105静岡県磐田市市田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL:05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話:0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯:080・1612・9130

